小玉有起

ブラッドラッド

Kadokawa Comics A

ブラッドラッド 4

小玉有起

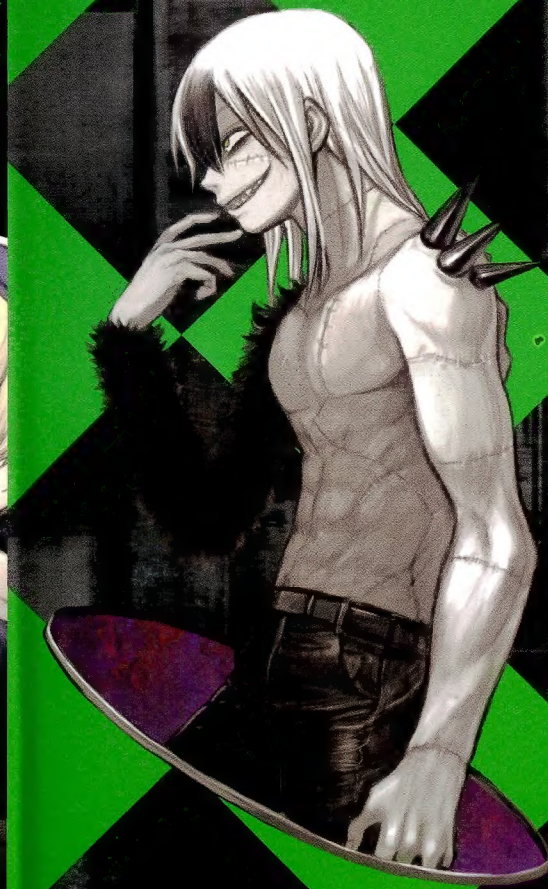
KCA280-4
角川書店

9784047157149

1920979005600

ISBN978-4-04-715714-9
C0979 ¥560E

定価:本体560円(税別)　発行:角川書店



**アキムvsスタズ、決着！
そして陰謀は加速する…**

アキムとの戦いを終えたスタズは、
冬実を蘇生させるという約束を交わし、
兄であるブラッズと別れた。
落ち着いたのも束の間、リズと一緒に
寝ていた冬実が突然姿を消してしまう。
魔界を覆う禍々しい陰謀とは…!?

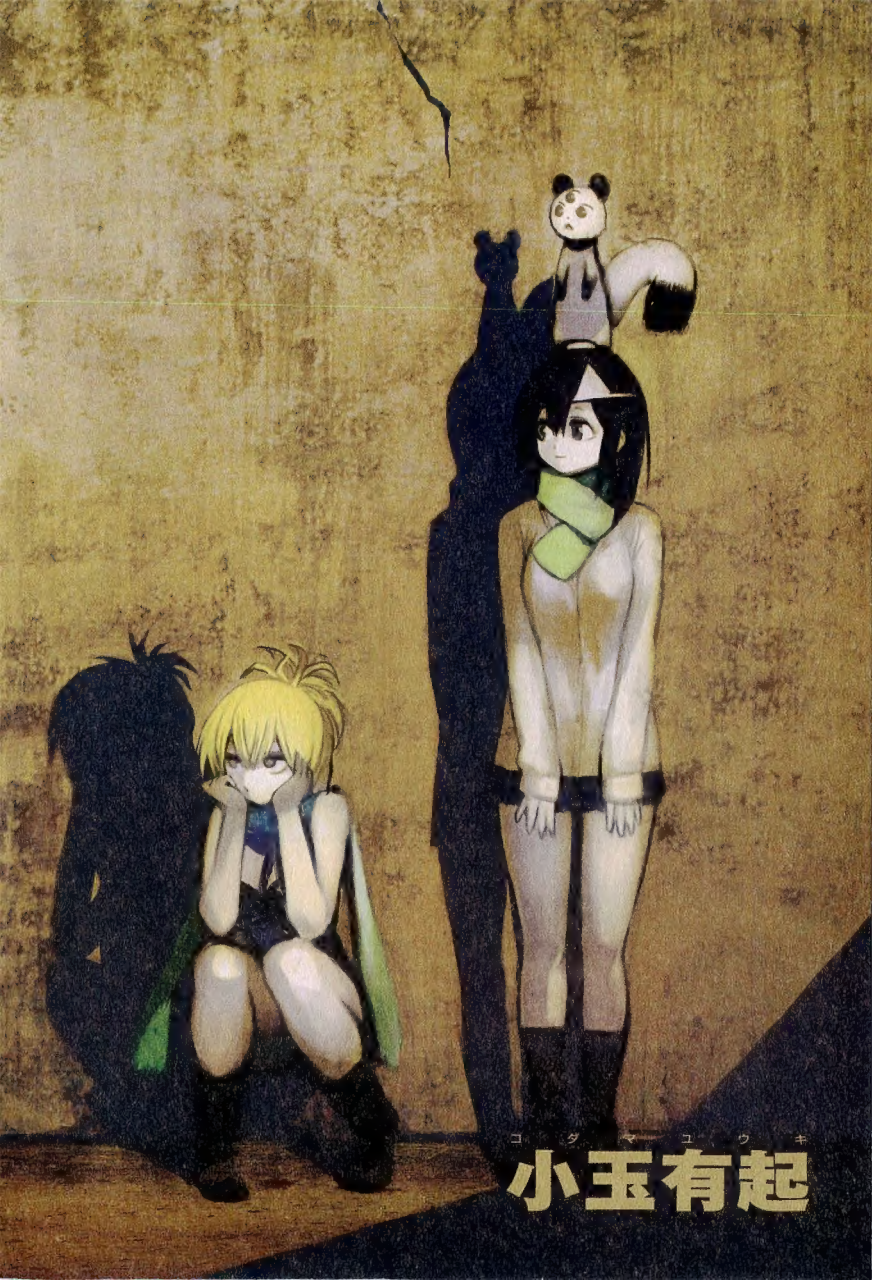
Kadokawa Comics A

ブラッドラッド

4

小玉有起

必ず
ドドド



コダマユウキ
小玉有起

ブラッドラッド
第16話♠それが大事

CONTENTS

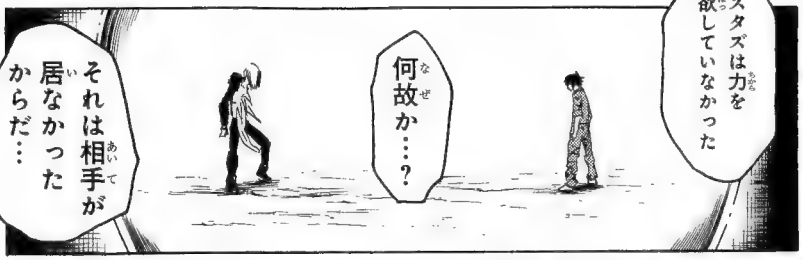
第16話♠それが大事…001
第17話♠それがダチ…039
第18話♠蘇生承ります…073
第19話♠はじめてのリズ…107
第20話♠幽霊泥棒と番犬…141

なるほど
すごい魔力だ
こっちも本気で
ようやく本気でやる気になった様だね
それでこそ…
ズブッ
ミヂ
ミヂ
ロロロ
ロロロ
食べ甲斐があるってものだ

さぁ…お互い…

全力で行こう
じゃないか
やべぇ 本気で
バケモンが
バケモンに
変身しやがった…
うげぇ…
……
いや…
本当のバケモノに
なったのはそっち
じゃねぇ…

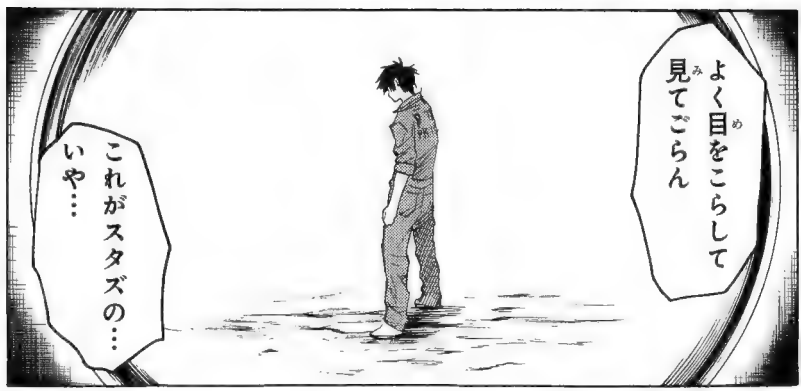
フッフフ…
クッハハッ
兄様…？
リズか…
丁度良い時に来た
お前もこっちに来て見るといい
兄様…
また新しい水晶を買ったの…？
ああ
時代は大型ワイドだからね
いくらしたの？
まあそんな事は今はどうでもいいだろう
スタズを…見てるの…？
あそうだ…兄さんの思った通りになったよ
足りない物は〝奴〟が持っていた…


スタズは力を欲していなかった
何故か…？
それは相手が居なかったからだ…

思い切り力をぶつけてねじ伏せてやろうと思えるような相手…
すなわち

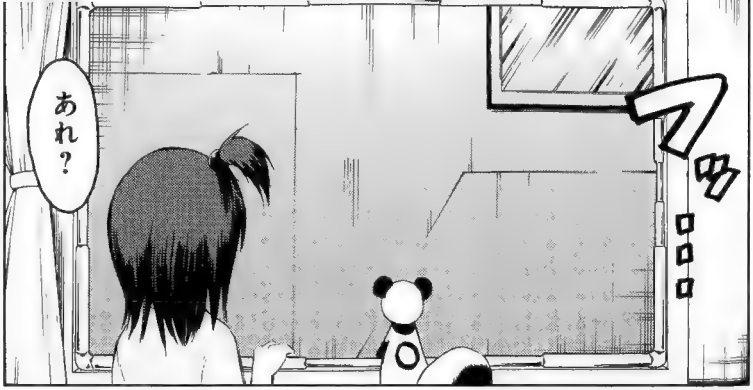
明確な…
敵の存在だよ…

……
さあリズ


よく目をこらして見てごらん
これがスタズの…いや…

お前の兄さんの
オオオオ

オ
魔力の形だよ
いくぜ

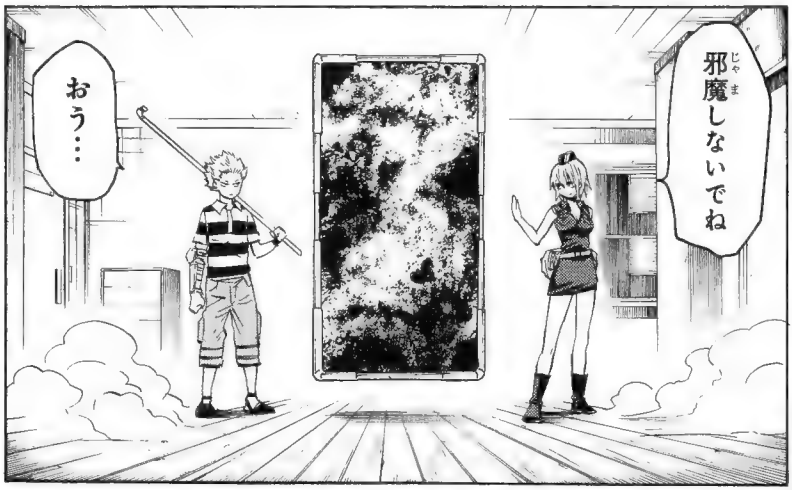

あれ？
ロロロ

何で空間閉じちゃったんだよベル
いいトコだったのに！
…いいわねぇ低級魔族はお気楽で…
これ以上見てたらここもフッ飛ばされるっつの
おい！
さぁさ私は用があるからこれにて

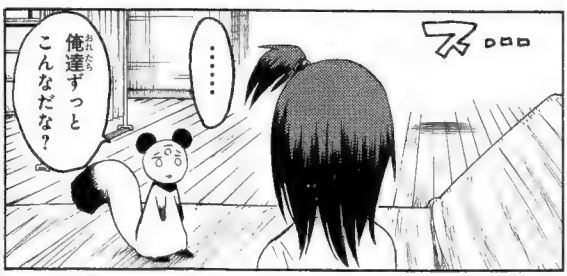
どこ行く気だ
関係ないっしょ
俺も行く

……
私がドコ行くかも知らないのに？
だいたいわかるぜ
お前が考えそうな事も

あっそ
じゃあいいけど


邪魔しないでね
おう…

どうなったかな…


……
俺達ずっとこんなだな？

これが答えか…

なんとも美しい…
今…僕はまぎれもなく本来あるべき姿の君と出会えた気がするよ…

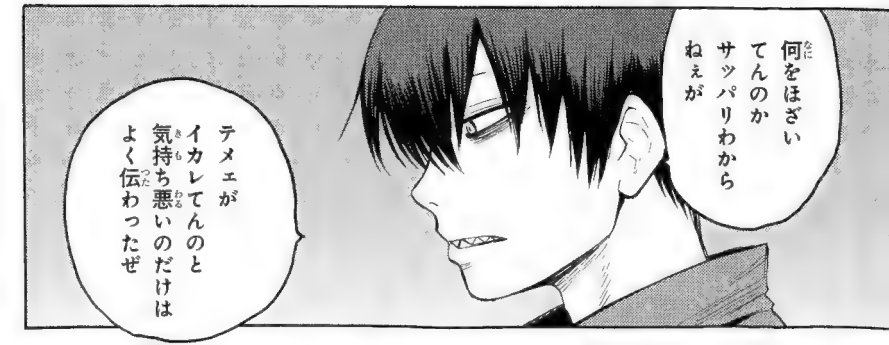
一瞬…
R.I.P

ドドドド
ゴゴ

出会い…

そして別れた
B·T·R
PRISON
結果

オオオオ
この有様だ
美しい…


何をほざいてんのかサッパリわからねぇが
テメェがイカレてんのと気持ち悪いのだけはよく伝わったぜ

何勝手に美しいとか言って一人で気持ちよく終わらそうとしてんだよ
俺たちの戦いはこれからだろ？

立て
生憎今ので残りの魔力を出し切ってしまった
もう僕は戦う気
甘えんな

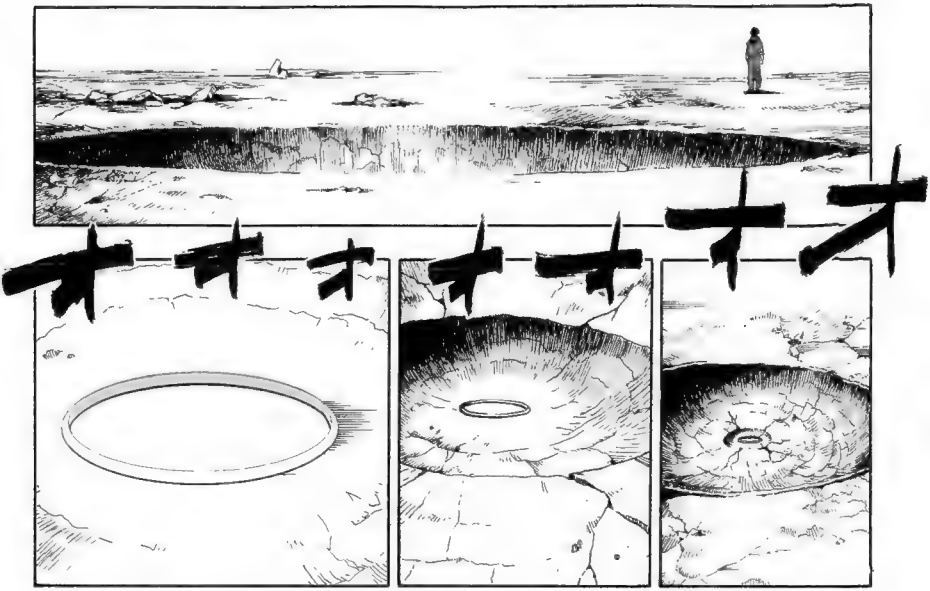
テメェは俺の考えたオリジナルの超必殺技で死ぬんだ
かませ犬みてぇにそれはもう無様にな

どうしてだ…
もう十分…
全力を出し合っただろ…
さぁーてどんな技をくり出そっかなー
美しく終わろうよ……
お前はそんな風に追いつめられた連中の手足を捥いだりして
さぞ楽しかったろうな…
そうだ
俺のほじりたての鼻くそを魔力で飛ばして
テメェの脳天で大爆発させるっていう必殺技はどうだ？
……
お前の最期にピッタリだと思うぜ
……一つ いいかい？
BTR PRISON

僕にとって…
力とは美そのものだが…
君にとっての
力とはいったい何だい…？
重荷だ
……
そうか…
…もういい…良い感じの鼻くそも取れねぇし
面倒くせぇから
俺の一番気に入ってる必殺技で楽にしてやるよ

あばよ変態
ツギハギ野郎
ズガァ
ズシ
ドドドド
ドドドド
ドドドド

なかなか…
ラストには悪くない技だね…
ドロッ
ズズズ
俺もそう思う
B·T·R
PRISON

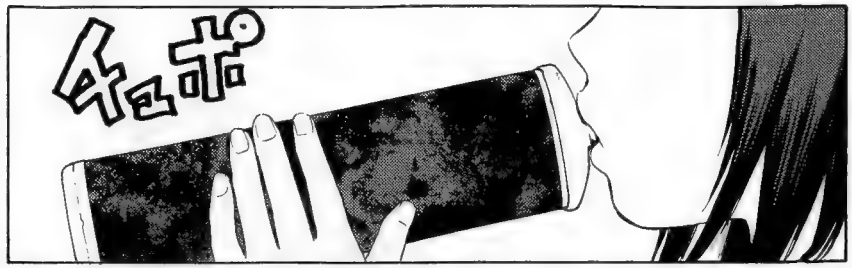

オオオ
オオオ
オオオ

よう

おう
……例の
超必殺技は
決まったか？
……いや…
でも
あんなもん
だろ
……そうか
終わった
ばっかで
悪いが…
お前に
一つ頼みが
ある
プッ ン
さて……

どうだった？
リズ
少しは兄を見直したんじゃないか？
……
相手が弱かった
そうだね…
でもこれで一つ先に進んだよ
そして確信した…
やはりスタズは〝適任〟だと
……
本人は望まないと思うけど
関係ないさ

ハッサ
手ならいくらでもある
あいつは私の言う事に従わざるを得ない…
まったく可愛い弟だよ…
……
さあリズ出かけよう
仕事だ


ぐしゃぽ

5本目です…

んく
んく
それで何本目だ？

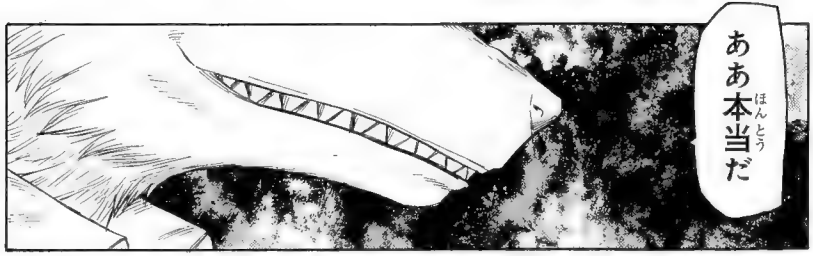
あと2本…

やべぇじゃねぇか
そろそろやべぇじゃねぇか

あーもう時間無ぇってのにあいつら何してんだよ!?
まままあまあ
まあまあじゃねーよ消えちまうんだぞ!?わかってんのか!?

そうは言ってもどうする事も出来ませんしね？
ちっくしょおお

話7
きっとみんな
それぞれ大事なものがあるんですよ
俺の目的は冬実の蘇生だ
今の話が本当ならマジで手加減しねぇぞ


ああ本当だ

あと数時間で
完全に消えちまう
お前の
せいでな

だからって
何でもう一度
冬実を賭けて
俺と勝負って
話になるかね？
B.T.R
PRISON
知ってんだろ？
俺の性格

白・黒つけなきゃ
気が済まねえ
オオ

……ま…
お互い動機は理屈じゃ語れねぇか
来いよ

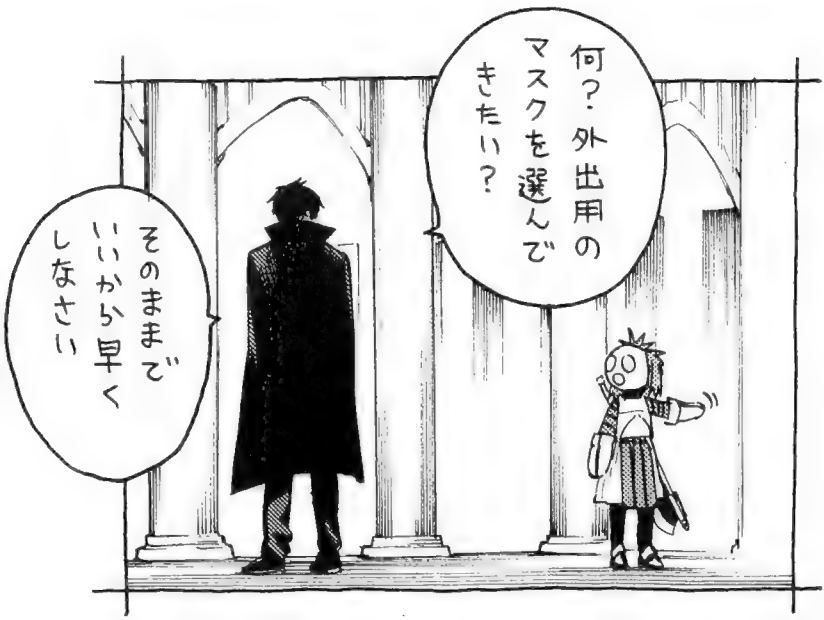
起きな
例のブツが入ったよ

…冗談だろ？
冗談言いにわざわざ来たと思う？

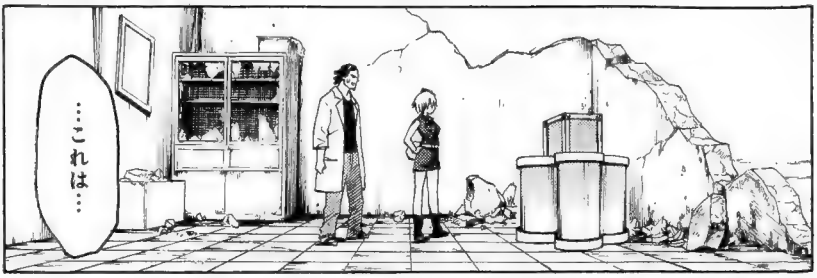
どこだ…？
この目で確かめたい
ええもちろん
でもここには持って来れない
ガチャ
ついて来な

ドゥ
ドゥ
……
あんたの名前
言ったら逃げ
ようとしてね
ドゥ
だからちっと
あんたの研究室
から借りて
拘束させて
もらったよ

♠つづく♠


何？外出用のマスクを選んできたい？
そのままでいいから早くしなさい

第17話♠それがダチ


……これは…

……最後に見た時と姿は変わっているが
確かにアキム…
お前…いったいどうやって…
おっと私は本物の空間魔術師っスよ

プロはこんな
なくんも無い所じゃ戦わない
自らの移動手段を制限する事になるからね
案の定アキムはあの場でこのオモチャを使うしかなかった
だから私はそこを狩った

上手く逃げたつもりだったんだろうけど…
ドゴォ
ズーーー
！

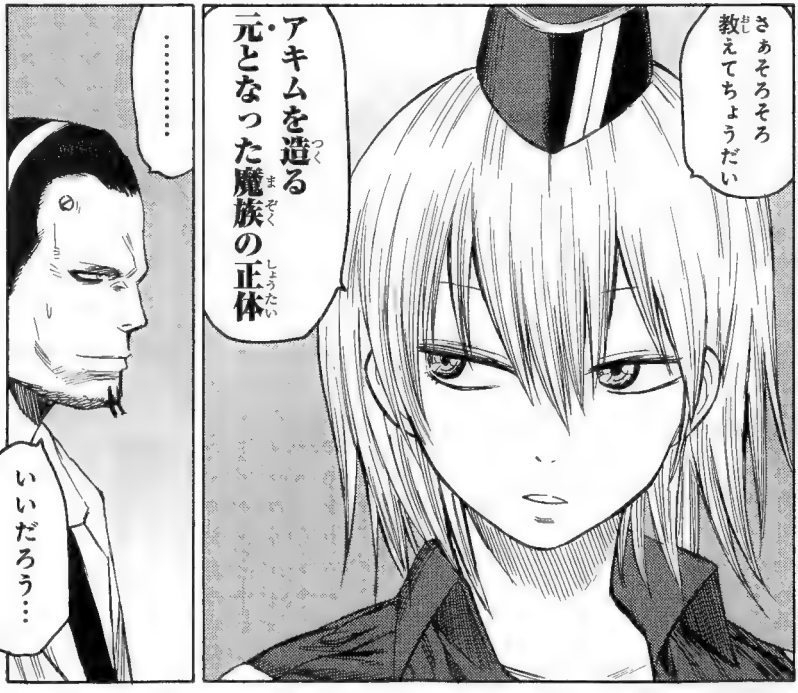
いらっしゃーい

まず下半身を通過させ
空間を閉じた
……この技は…
僕と同じ…
違うね
私のがオリジナル
あんたのはただの模倣だ
ゴト…
……
それから…

私なりに
アキムに尋問した
何処でその術を
身につけたのかを

結果
覚えてないし
気づいたら
使えてたって

現にアキムは私に
会うまでこの力を
自分だけのものだと
思ってた
……


さぁそろそろ
教えてちょうだい
アキムを造る
元となった魔族の正体
……
いいだろう…

ゴポ
ゴポ
当時
俺の研究は行き詰まりを見せていた
ボロ…
人間と違い魔族は種族によって体の性質が異なり
どうしても別種の融合はどこかで拒否反応が生じた
持って30分…
完璧に繋いだと思ってもそれが限界だった…
これではとても完成とは言えない
もう一歩という所でバランスが維持出来ない統率が取れていない…
決め手となる
部位の動力が不在だった…
パーツリーダー

そんな時…
トゥルルル
一本の電話が俺の研究室にかかってきた
ガチャ
誰だ？
やあフランケン君イイ子にしてたかな？
誰かと聞いてる
君にプレゼントがある
おいこれは何のイタズラ
ブッ
……
いい子にしていた君に
君が今一番欲しい物を…
サンタクロースより
表に出てごらん
私が誰かもそこで分かる

……
何それ
でも箱を開けた後の俺は…
どんな顔をしてたかな…
まさか…
フフ…
その箱を前にした時の俺もちょうどそんな顔をしてたろうな
そう そこに入っていた
アキムの核となる
空間魔術を使える男だ

そいつが…
私の魔術を盗んだ
魔術泥棒…
ああ おそらくな…
俺が箱を開けた時には もうそいつは虫の息だった
瀕死だった
助かるにはもう部位として生きるしかない…
そうして足りなかった動力として…
アキムとしてそいつは生まれ変わった…

俺がその魔術泥棒についてわかる事はそこまでだ
何よ結局何もわかってないじゃん…
誰なのよそのサンタクロースってのは…
わからん
俺にもサツパリ心当たりが無い…が
そのサンタクロースが魔術泥棒を半殺しにし……
俺にアキムを造らせたのは確かだ
……
まったく…
よくやく魔術泥棒を見つけたと思ったら
早速次のミステリーってわけ？
ガッ

！
おっと…
これは
これは…
スタズを殿堂に運んだお嬢さんじゃないか
な…
な…

何でその事を！
…っていうか！
え!?
何でここにいる…
いらフレゃられるんですか!?
ホワッッ!?
安心したまえ
その件は上への報告を謹んでおいた
今回は別件でね
フランケン・シュタイン及びパップラドン・アキム
魔界の秩序を乱す数々の違反行為により両名を審判にかける
ま…待ってくれ…約束が…
俺はこの後幽霊の娘を助けなければ…
死刑?
いいやリズ
とりあえず身柄の拘束だ
……
ああそうだったね…
でもその約束は残念ながら果たされる事はないだろう…

リズ
はい兄様(にいさま)
有罪

ズゴゴゴゴ

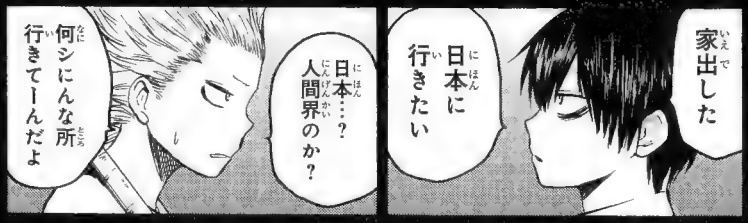
ガハッ
ハア
ハア
……
…満足か？
ハア…フフ…
満足…？
今 満足したか って言ったか？
俺は生まれて 一度だって
結果に 満足した事 なんて無ぇよ
じゃあ何で 戦う
この賭け勝負だって 俺には不毛な戦い にしか思えない

そうだろうな…
端っからお前はそういう奴だった
……
覚えてるか？
俺達が初めて会った日の事
そうだ…あの時もお前は
上から落ちて来た
ガラ。

おいおいウルフ
何だコイツ
――!!
俺達の
秘密の隠れ家の天井に
穴が――!?
おいテメエ
何て事して
くれてんだよ!!
フラ…
ていうか
大丈夫かテメエ!!

待てコラ
パッ
パッ
パッ
出口そっちじゃねぇよ
おーしいい子だおぼっちゃん
ギシ

まず
何者だお前
スタズ
上
どっから
来た
何で上から来たか
聞ーてんだ
んな事ぁ
わかってん
だよ


家出した
日本に
行きたい
日本…？
人間界のか？
何シにんな所
行きてーんだよ

宮崎駿に会いたい
……誰だよ
じゃあ
手っ取り早く
稼ぐ方法教えて
やるよ
まあ何にせよ
人間界に行くには
金がいるんだ
お前
金持ってん
のか？
フルフル
……！
おいウルフ
まさか…

ルールは簡単だ
本気かウルフ!?
こんなヒョロそーな奴相手に…
お前が勝ったらこの金をやる
ちょっ
待てよその金
俺達ゝ狼煙団ゝの金じゃねーか

ドドド
時間無制限
魔力攻撃有り
どっちかが
ブッ倒れるまで
戦う
んで俺が勝ったら
そうだな…
お前は下っ端として
入団してもらう
いいか？
わかった…

あの時からだ
あの時からずっとお前は
俺に本気じゃねえんだ
まいった

…まいった…
だとぉ…
お前 何も してねえじゃ ねえか！
ずっと俺の サンドバッグ だ！
戦ってねえだろうが！
何が「まいった」だ！
落ち着け ウルフ！
言ったろ ただの おぼっちゃん なんだよ
違え!!
〝上〟から落ちて来た…
俺には分かる
お前は…
殿堂魔族だ!!
そうだろ!?
答えろ!!
何で本気で俺と戦わねえんだよ!!

だって本気を出したら……
君を殺しちゃうから…
何が殿堂魔族だ…

俺はそう思っていた…
自分は強ぇ…
雑種だとしてもそんなに差なんて無いんじゃねぇかって
だけどどうだ
グッ…
実際には魔力を封じられてたお前にすら
情けをかけられる位の力だった
それでどうして
戦うに値しない存在だった
全力で…
満足なんてできっかよ

じゃあな

また白黒つけに来るぜ

次は本気出さしてやるよ

……

出さねぇよお前には

ダチだからな

パチ
パチ パチ
パチ
いやぁ
素晴らしい
な…
兄貴!?
スタズにも
友達が居た
なんてねぇ

な…何で
下に居んだよ
ってか急に
どっから現れ
やがった!?
リズの仕事
でね…
私はその
付き添いという
形で来ている

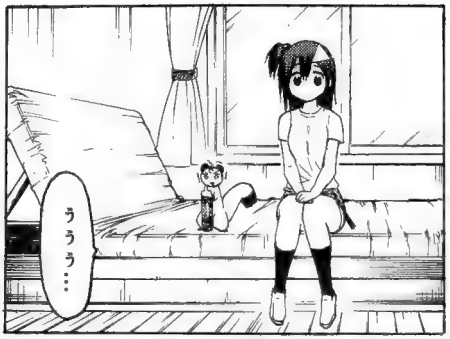
ほらリズは
下に来るのは
初めてだから
ねぇリズ
思ったより
何も無い
うっせえ
説明に
なってねぇ!!

ああ…
ここには彼女が連れて来てくれたんだ
……
私 長い物には巻かれる主義でして
いやぁ～
……
という訳だ
ナーゴ～
しかし…
彼女といい先ほどの彼といい
スタズはなかなかいい友人を持っているじゃないか？
なあリズ
スタズのくせに
あ～～～もう～～～何なんだよお前等…
用が無えならさっさと帰れよ…
B·T·R
PRISON

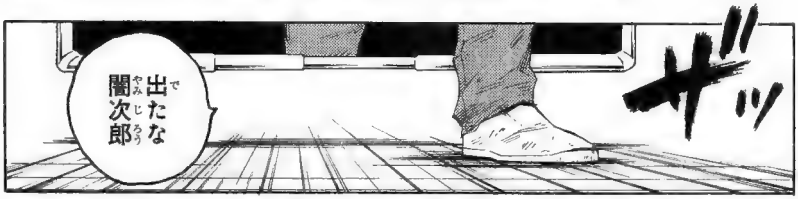
♠つづく♠

……ん？
そーいえば
西って……
どっちだ？

うちの店 出禁にして
集めてる コレクション
だって全部燃やして
やる……へへへ…
どっ
どうしたんですか
急に！ 黒いですよ!?
ガン


うううう…

…もうだめだ…
もしこれで
闇に合わなかったら
俺はスタズを
一生ゆるさん…


出たな
闇次郎
ガッ

ブラックなトーンは
勘弁してほしいねぇ

ノゾロッ
ただでさえ辛気臭えのが横に居んだからよ
第18話♠蘇生承ります

いい子にしてたか？
あ…ああスタズ…
お…おまおまおまま…
ブルブル

何ファミリー連れで来てんだよ!!

知らねぇよ…

勝手に来やがったんだよ…

ん?

何だそれ

え…

ああこれ

魔素ドリンクだよ

これが最後の一本…

ってゴクゴク

パッ

うわ――!!!!

いやー丁度喉渇いてたんだよ

でもあんまウマくねぇなコレ

お?

どうした今度は青くなって

水属性の海次郎にクラスチェンジか?

BTR

名実はそのまんま

マジで燃やすぞお前ん家!!

何て事してくれてんだよ!?

おーおー赤くなったなバーニング次郎

黙れバカ!ちょっとそこ座れ!!

何だっつうんだよさっきから…

ドリンクについて説明中

教次郎

そりゃウルフが悪いな

いやお前だよ…
総じてお前がブッチギリ元凶だよ？

だってあいつ冬実が消えそうとは言ったけど

ドリンクで長らえてるなんて言ってねーもん

そりゃ知らずに飲むっつうの

なあ？

いやまず私はあのビジュアルで飲み物かどうかも疑いますけど…

フッ さっきから何やら口論をしている様だが？

関係ねぇだろ

しばらく外で下着でも物色してくれよ

おいおい彼女とは初対面なんだ

ちゃんと紹介してくれないと私がそういう人みたいじゃないか？

ねぇ幽霊のお嬢さん

あ…

は はじめまして…

名前を聞いてもいいかな？私はブラッズだ
ふ…冬実です
おい
なるほどいい名だ
はじめましてミス冬実
ボッ
ウッ…
おい今ならさっきのドリンク倍にして錬成できそうなんだけど
やめろ
…実は会うのは初めてだが
君の事は色々と知っている…
今君が抱えている問題の事も
それを解決する方法もね…

パシッ
関係無ぇって言っただろ
グググ…
勝手な真似すんじゃねぇよ
…だが急を要する案件だろ？
私に任せてもらえれば
彼女を元の幽霊の体に戻す事など造作も無い事だ
そーやってテメェは俺に貸しを作りてぇんだろうけどな
生憎お呼びじゃねぇんだ
失せろ
ポカッ
よろしい…

プラン
今回も
折れてやろう
どうやって
彼女を救うのか
その方法をね…
見せて
もらおう
じゃないか…
私の手を
借りず
ゴキン
そんなの
決まってるぜ
ニィ…
方法なんか
じゃねぇよ
ガリッ
BTR
PRISO
約束
したんだ

生き返らせる
その日まで
俺が給血鬼に
なるってな

え…ちょ…

こ…ここですか?
何だよ早くしろよ
じー
い…今みんな見てますし それ飲むと私その…
もー出しちまったんだよ

ほれ

じゃ…じゃあせめてあっちの…

方で…
ぷっ
ガポッ
いいから飲め

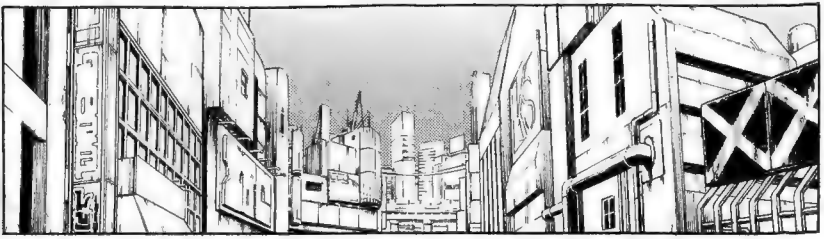
ゴクン…
ドッ
どうだ
前の比じゃねぇ魔素量だぜ
ああ…

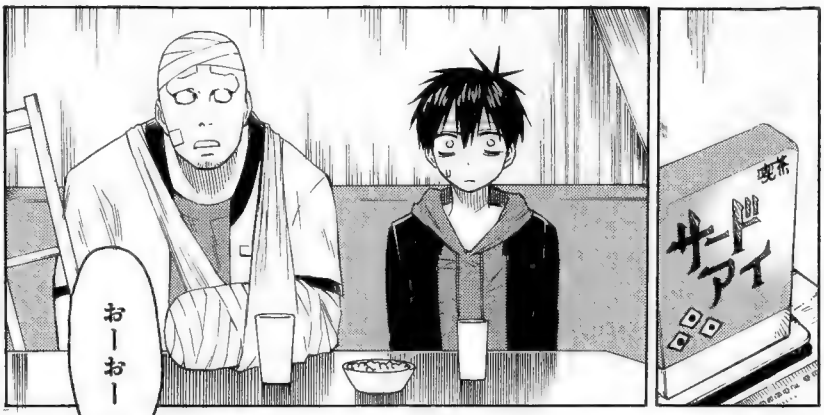
駄目です
スタズさん…
私…これ以上…
この味を
知ってしまったら…
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

これでまた当分は持つだろ
……
ぷしゅー
ドサ
ハァ
ハァ
カチャ
感心しないな

このやり方では根本的解決になっていない
そーかもな
今は良くてもコレを続けているとどうなるか…
もちろん続ける気なんてねぇさ
すぐ人間に戻すんだからな

そういう約束だろ？
兄貴
……
そうだったな…
では今度は元の娘に会うか
東魔界
お前が人間の冬実と出会い
同時に別れた場所…
スタズボスのナワバリにな




喫茶
サードアイ
おーおー

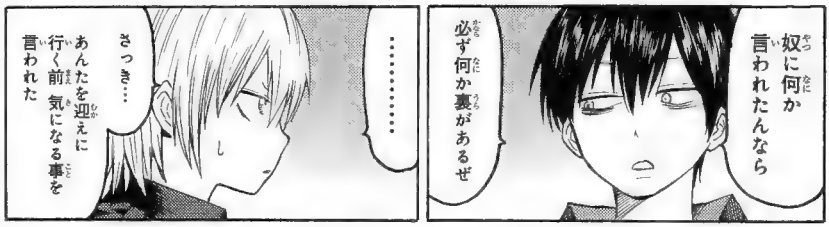
やっぱ今日も空いてるねぇ
ボ…!?

ボスゥ――!?
うお 俺が居る!
吉田っすよ!! 忘れたんすか!?
あーそっか おいデク すげーなそれ
大変だったんすよ 色々!! ナワバリヤブリとか 色々!!
サードアイ
うわああ サティ――!!
俺が居なくて 淋しかったろー!? 辛かったろー!?
俺の胸で 泣いていいんだぜー!!
っていうか坪井 何勝手に俺の服着てんだよ
そ それはボスになりきるため… というか自分 吉田ですけど
ボスこそ 何で囚人服着てんスか?
……
おほん
まぁ細けぇ事は いいじゃねぇか
サティちゃん 俺ビール
……
そっすね お!
何スかこの 小っこいの 新入りすか
あー
それ俺の妹
え……

おほん
正直驚きを隠せないでいるよ
スタズがこんな礼儀も何もなっていない連中と一緒にいたなんて
ブル ブル ガタ ガタ
まーまー細けぇ事はいいじゃねぇか
とりあえず乾杯しようぜ
ワインは無いのか
ねぇよ
じー
いや…あるけども
お前さん何か大事な事忘れてない？
あー冬実の骨だ
デク悪いけど取ってきてTVラックんとこにあっから
TVラック!?
ニューッ
ニューッ
じー
おっきたきた
？
これこれ

遠慮せず
食えよ俺の
オゴリだから
……
何だこれは
ガロロロ
！
ツチノコだよ
食った事無ぇのか？
…食えるのか
……
WC
スタズ
ちょっといい？
何だベル
居たのか
…居るよ
ずっと
んだよ
トイレくらい
一人でしろよ
アホッ
違うよ
どーも
におうの
そりゃトイレ
ですから
そーじゃなくて
真面目な話
あんたの
兄貴
どこまで
知ってんの？
さーな
全部知ってるの
かもしんねーし
全部知ってるフリ
かもしんねーな

ただ一つ確かなのは 常に何か企んでやがるって事だ
クンクン
兄貴は自分の計画に都合の良い情報しか他人に与えない
ナデナデ


奴に何か言われたんなら必ず何か裏があるぜ
……
さっき…あんたを迎えに行く前 気になる事を言われた

ズズゥ ぅぅん…

ズズズ…
――さて
リズの仕事も終わったし
これからついでに魔界見物でもして帰りたいんだが
……
あっ はい

ご入用でございますか
カチ
ハハハ
そんなに緊張しないでいいさ
それより意外だったよ
君のようなプロまで
幽霊の娘の蘇生に一肌脱ぐとはね…
あ…いやそれは…
別にそっちは…
もしかして
気がついているのかい？
あの娘が君にとって大切な……
え？
……いや失礼
とりあえずスタズを迎えに行ってやらねばな
頼めるかい？
料金はちゃんと二人分払うよ
いいえいえそんな！メッソーもねーすよ！
……
どう思う？

お前の揉み手接待っぷりが哀れでしょうがない回想だったな
そこはいいでしょうがないでしょ
ってかそこじゃないでしょ!!
私にとってフユミンが大切な何だっつー話っしょ
もーただでさえ他の事で頭がこんがらがってるっつうのに何なのあんたの兄貴は!?
あーあー悪かったよ

俺からアドバイスできるとしたら「気にするな」だ

俺の経験上兄貴の発言で動く事は必ず兄貴にとって都合がいい事だ
……

わかった…動くってもどう動けばいいかわかんないしね
フニャ
とりあえずフユミンが起きたら…

コレ
渡しておいてね

何だこれ
ベルよ
W C
指で持って
三回鳴らせば私に
会えるから
何かあったら呼ぶ
よーにフユミンに
言っといて
あっ おい！

ピンポ
W C
ほんじゃーね
……
ったく

こういう事が
すでに
チリーン
チリーン
チリーン
兄貴の発言で
動いてるって事に
なんじゃねーの？
……
W C
しかも
俺が鳴らしても
来ねぇのかよ
パシ
野郎…
今度は何企んで
やがる…

お待たせして
もーしわけありません
ボス!!

どーん

お骨の方お持ち
いたしましたー!!

おう早かったな

では我々は
これで!

ごゆっくりで
あります!

BTR
PRISON

きたか

きたか
じゃねぇよ

俺のナワバリで
エラソーに
しやがって

では早速
診てみるとしよう

ヤバ!!!

おい何だそれ
待て…

まず何するのか
言ってから始めろ

まずサンプルを取る
骨はこれだけか？
ああ…
よろしい 持ち帰ってDNA抽出をしよう
おおう
それでその手に持ってんの何だよ…
私が開発した器具だ

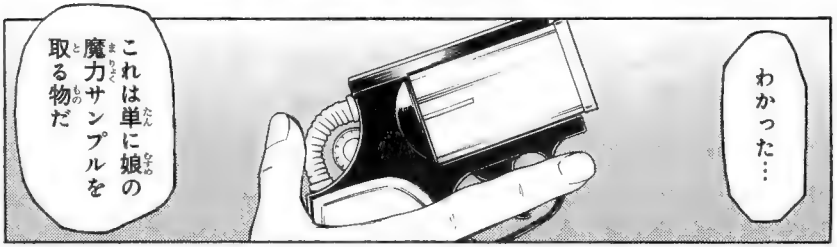
いやそれはいいけど何に使うんだよ
次は娘だ
おい！
B-T-R PRISON

なぁに心配はいらんさ
だから何すんのか言えっつうんだよ!!

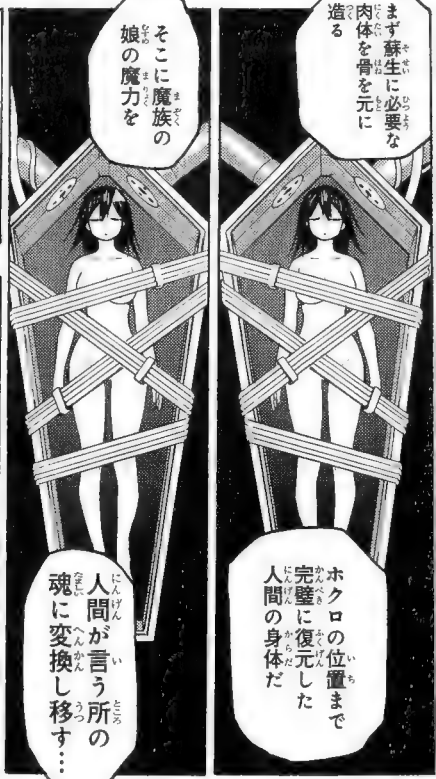
服が邪魔だな
じー
スタズ脱がしてくれ
リズの前でさらっと何言ってんだよこの変態兄貴が!!
さっきから何を慌ててるんだお前は

まさか人体蘇生を私が魔法のステッキでも振れば済むものと思ってたわけではあるまい
……そりゃまそうだけどよ
……
そんなに私が信用出来ないか
……ああ悪ィけどな
こっちはそんだけマジなんだよ

もし蘇生と偽って冬実に変な真似しやがったら
俺は兄貴を一生許さねえ


わかった…
これは単に娘の魔力サンプルを取る物だ

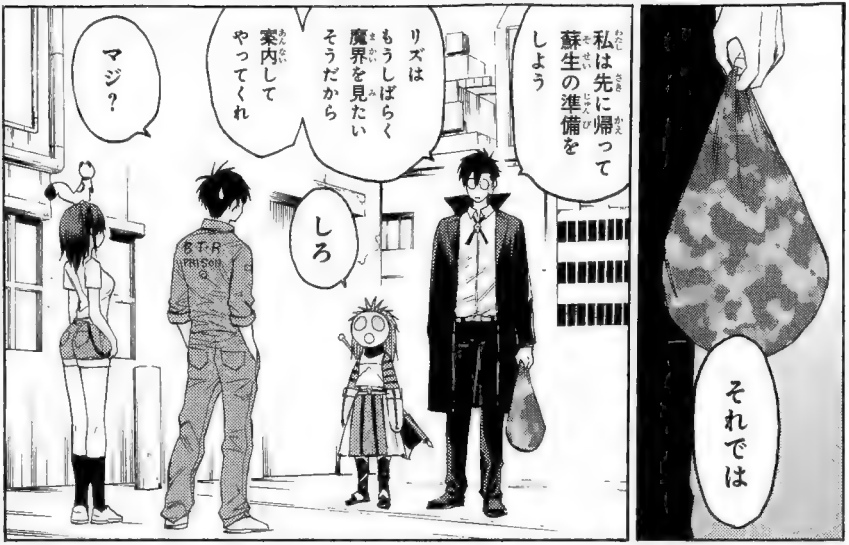
つまり今から取るサンプルは
魔力から魂への変換テストのためのものだ


まず蘇生に必要な肉体を骨を元に造る
そこに魔族の娘の魔力を
人間が言う所の魂に変換し移す…
ホクロの位置まで完璧に復元した人間の身体だ

変換は個体差によって調整が異なるからね
どうだ？ここまで言えば信じてもらえるか？

よし
脱がそう
パチッ
ん…
はい せーの
ヘ？
ガッ
あれ…スタズさ…
おう丁度よかった
ちょっと
バンザイしろ
はい？
バンザーイ…
イ…

イヤ――!!
何ですか急に!!
暴れんじゃねぇよ!!
ほら兄貴早くやれ
……
た…助けて下さい…
ブルブル
じりっ…
泣いてんじゃねーよ
ごめんなさい…
……
ああ見ない方がいい…
最低な兄貴達の共同作業だ…
早くやれって!!
プシュッ
プシュッ
……終わったぞ
え…
ったく手間とらせやがって
ジト…
何だよ
言っとくけど兄貴が脱がせったんだぜ
おいスタズ…
それじゃまるで私がそういう人みたいじゃ…
事実だろーが


それでは
私は先に帰って
蘇生の準備を
しよう
リズは
もうしばらく
魔界を見たい
そうだから
案内して
やってくれ
マジ？
しろ

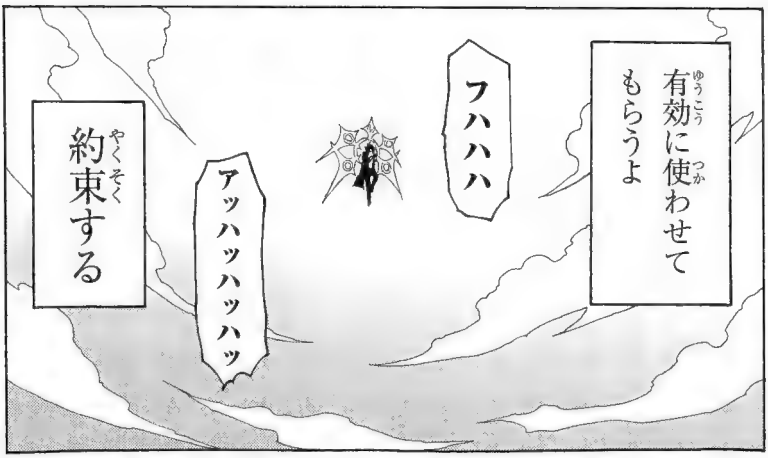
じゃあな
スタズ
兄貴
最後に一つ
いいか？
冬実の
魔力サンプルには
俺のも混じっちまって
んじゃねぇのか？
その事か…
言っただろ
魔力を取り除くのは
私にとっては
造作もない事だって

それを私にさせなかったのはお前だ
……
ああ…
悪かったよ
安心しろ
サンプルに入ってる分は取っといてやる
お前は彼女を生き返らせるその時まで
パシ
彼女の給血鬼でいてやればいい

約束は守るものだろ？
私も必ず守ろう

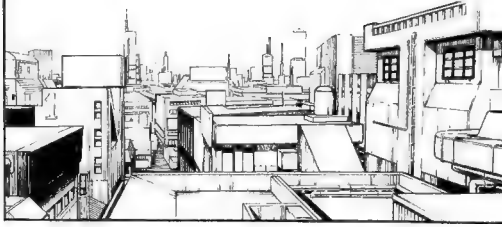
兄様…
かっこいい…
そうか？
丸っこい
風呂敷
持ってんぞ
ちょっと
コンビニ行くのにも
あのスタイル
だろうから
ドン引きだよな
コンビニって
何だ？
ドン引きって
何だ？
私にわからない
言葉で兄様を
愚弄すると
死刑にするぞ！
ひ～～お助け
リズ様～～
ベロベロ
ベロベロ
ニルギーン
貴様ー!!
そう必ず…
取っておいて
やるとも…
BTR
PRISON

スタズ…
クックッ…
フフフ
お前の魔力サンプルをな…
完全な吸血鬼となった…


有効に使わせてもらうよ
フハハハ
アッハッハッハッ
約束する

♠つづく♠

え～っと古術泥棒がアキムの元で～
もん
もん
でもそいつはサンタクロースにすでにやられてて…
ソワ
ソワ
犯人の目的…いや私のブラックカーテンは…
あ～も～～



OPEN

どこ行ったかと思えば
ボリボリ
ぱりぃ

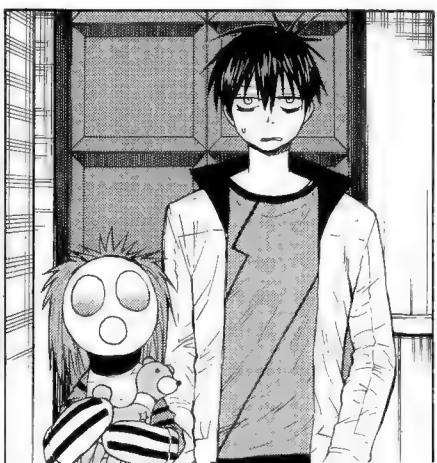
…何見てんだ？
べ…別に何も見てない！
ふーん…

カランコラン

あ

お帰りなさい！

第19話♠はじめてのリズ

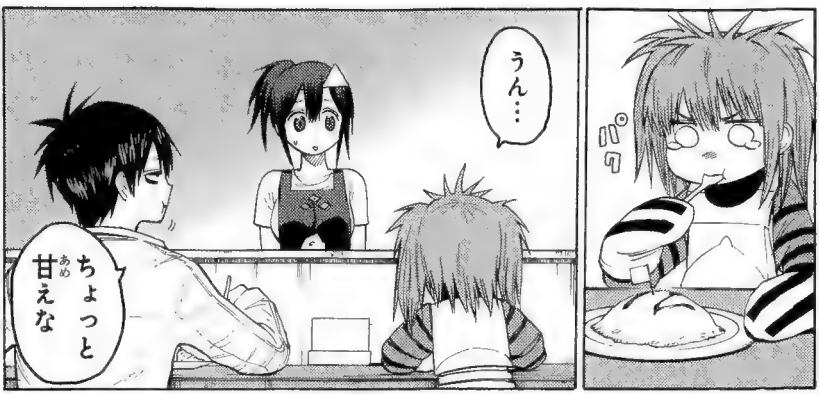


可愛いの買いましたねー
フイ
別に気に入ってない
あーそう
しかたなくもらってくれてありがとよ
もう観光はいいんですか？
あぁ あらかたな おっ
何だ お前等うまそうなの食ってんな
ボスもどうですか
冬実が作った人間界料理だぜ
……大丈夫か？
それ食えんの？
私を何だと思ってるんですか
こう見えて生前は毎日家の台所に立ってたんですよ
ああそっか
お前ん家母ちゃん居ねぇもんな
じゃあちょっとそいつをリズにもかましてやってくれよ
かまして…って私の料理を何だと思ってるんですか…
……

何かツチノコみてーだな
えへへツチノコ風オムライスです
ジャーン
ホコ
ホコ
おー
いただきまー
もぐ
もぐ
うん
……
ドキドキ
リズお前マスク取れよ
ボコォ
お前はまたすぐそういう…
ガッ
……
カチャカチャ
ボロ
ボロ

ちゃんと取れ
ガポッ
！
ブシ
ブシ
おいおい
何だよ
もうホーム
シックかよ
違う！
すぐ
メソメソ
しやがって

冬実に
母親が居ない
って聞いて
思い出したか？
？
俺達にはもう
両親とも
居ねーんだ
いーかげん
馴れろよ
ガキんちょ
…そんなんじゃ
ない


パク
うん…
ちょっと甘えな

でもまぁ…
うん…
な…
なんて
カチャ
カチャ
気まずい
空気…
そして
たとえ嘘でも
「うまい！」とか
言ってほしい

カチャ
ごっつぉーさん
あ…はい…
どうでした？
お前らしい
味だったよ
な…
なんて
曖昧な
感想
そう
ですか…
一言で言えば
素朴

……
おいしかった

そうですか！
また食べたくなったらいつでも作りますよ！
…何だよ急にはりきって

スタズさんには作りませんけど
ガビ
おい何ちょっと怒ってんだよ

ってだからそれかぶんなっつうの
うるさい！放せ！
ドタバタ
あーあー
あ――…

平和だな…
ガビーン

兄貴が帰ってから

かれこれもう半日が経とうとしています

依然として連絡は無く

いったいどれくらい待てばいいのかわかりません

〝ちょっと観光〟を終えたリズも一向に帰る気配を見せません

インタビューしてみましょう

高速ホームシッカーのリズさーん？

まだ居る

帰りてぇならもう帰れよ

やだ

よーしわかった

スパイごっこしようリズ

この携帯を持って帰って兄貴の進行具合を随時…

やだ

あの…

Here

私が言うのも何ですが色々調べたりするんですよね？

流石にそんなに早くは終わらないと思うんですけど…

おっと冬実さんじゃあどんくらいかかるとお思いで？

…そうですね…
早くても…
一カ月くらい…
とか…？
Click Here
ポロロ
…お前それ
マジで言ってんの？
…ちなみに
スタズさんは
どれくらいだと
思ってたんですか…
え…
いや30分
くらい…
宅配ピザと
同じレベルで
私の身体が造れると
思ってたんですか
え ピザって
そんな早く
作れんの
…もういい
です…
……
click
兄様…
私の仕事って…？

…そうだな
表向きは この騒ぎの
発端である
フランケンとアキムの
確保という名目だ
ピッ
？
これはリズの役割
という事で正式に上への
申請も通してある
何これ…
殿堂チケット？
そうだ それを使えば
いつでも殿堂に
帰って来れる
私も付き添い
という形で
同行するが
その表向きの
仕事が終わり
スタズから例の物を
受け取ったら
早々に魔界を
発つだろう
リズ…そこからが
君の大事な裏の
仕事だ
ゴクッ…
私が帰ってからも
現地に残り…

いいと言うまで
私のトコロ殿堂には戻って来るな
できるね？
…え…
そんな！ヒドイです兄様！何で…
スタズの監視だ
これから私はまた研究室に篭る事になる
その間スタズが私の邪魔をしない様に見張るのが君の役目だリズ
ガポ
……

なんかお前またうっすら…
泣いてね？
ピクッ
だから帰りてぇなら帰れってうっせーしい
泣いてない！帰らない！
おーそうかそうかだんだん諦めてきたぞ

お前兄貴から何か言われたろ
フイッ
お？シカトか？図星か？
ちょっちょっとスタズさん
やめましょうよ

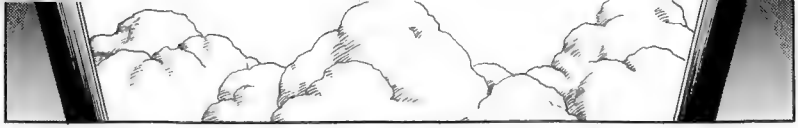
…兄様は
私に…
仕事の邪魔だからしばらく戻ってくるなって…

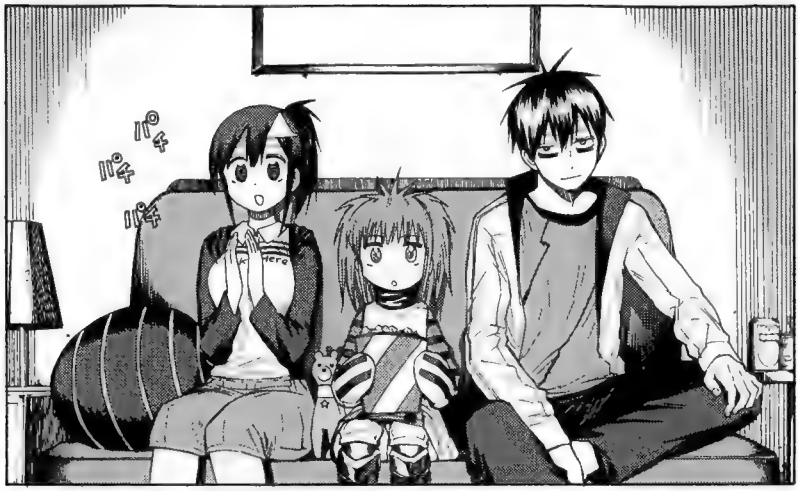
……
それ…本当か？
ウソだけど…
うん
多分本当…
兄様の研究には
いつでも私は含まれて
いないから…
いい子だ
リズ
〝可愛い妹〟
じゃないから
いい子にして
なきゃいけない…
わるい子に
居場所は無いから…

ポーン
！
悪い子だ
リズ
何だと!?
見てみろ俺の
ライブラリ
マンガ・アニメ・ゲーム
その他目白押しだ
倉庫行けば
もっとある
それを全部!!
初めから
楽しめるのは
お前だけだ
そうだな…
手始めにジブリ…
トトロとかいくか
……
あーでもラピュタとか
久々に見てえな
俺が
スタズ…どうしたんだ
急に…
お前なぁ…
そうならそうと
早く言えよ
「帰るとこ
ないから泊めて」
くらいよ

俺達一緒に兄貴にほったらかされてるって事だろ？
だったらこっちも全部ほったらかして楽しく遊べよガキんちょ
…ほったらかして…
遊ぶ…？
それは…わるい子のする事だ
何言ってやがる

魔界には悪い子しか居ねんだよ
自分のわがまま通して一番好き勝手楽しんだ奴の勝ちだ
覚えとけ




パチ
パチ
パチ

わー
いやー
やっぱ良い物は
何回観ても
良いな

ゴク

初めて観た
けどすごい
面白かったです
バルス

へ？
これ観るの
いや何も立て続けに同じの観なくても…他にも名作が
魔界のクソみてーなTVの100倍面白ぇだろ
どうだリズ
もう一回観る
マジかあいつ…
アハハ
わがままを通して楽しんだ奴の勝ちですね？
カシュッ
本当…その通り
…でもちょっとスタズさん見直しました
あ？

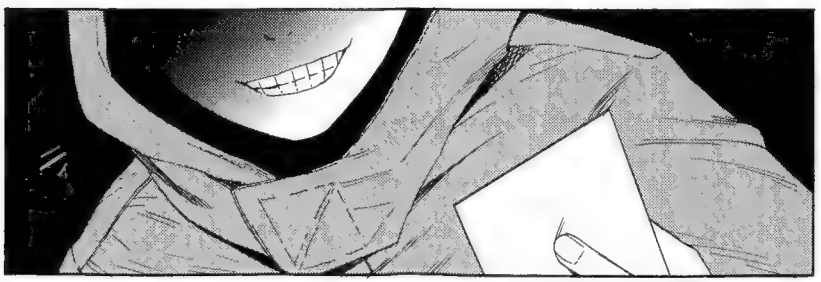
ちゃんと
お兄さん
してますね
実はやさしい
ですよね
はぁ？
あ――
そーいうの
ウゼェ
だって…
私の事
生き返らせるって
言ってくれてから
本当に
ここまで
来ちゃいました
ありがとう
ございます
まだ生き返って
ねーだろうが

それにどうも何か引っかかるんだよ…
結局 最後兄貴に任せるってのが釈然としねぇのもあるが…
正直な話
今となればアキム討伐でイーブンになる取引だったとは思えねぇ
もしかしてこの取引はまだ…
K Here
そんな考えすぎですよ
すごく強い相手だったじゃないですか
強い弱いの問題じゃねーよ
クシャ
兄貴にとって有益かどうかだ

兄貴の壮大な
企みの
入口にすぎないのかもしれない
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
なんつって
…もう…
やめて下さいよ
まぁ
気い抜くなってこった…
あ
ベルのベル
……
何ですかそれ
そういや
忘れてたわこれ
チリ～ン
？
何ですかそれ

知らねーよ
ベルがお前に
渡せってさ
3回鳴らすと
ベルが来るベル
なんだと
…はあ
そんじゃ
そろそろデク達
来っから中入んぞ
あっちょっと
待って下さいよ
ガラガラ
ピシャッ
……

オ
オ
オ



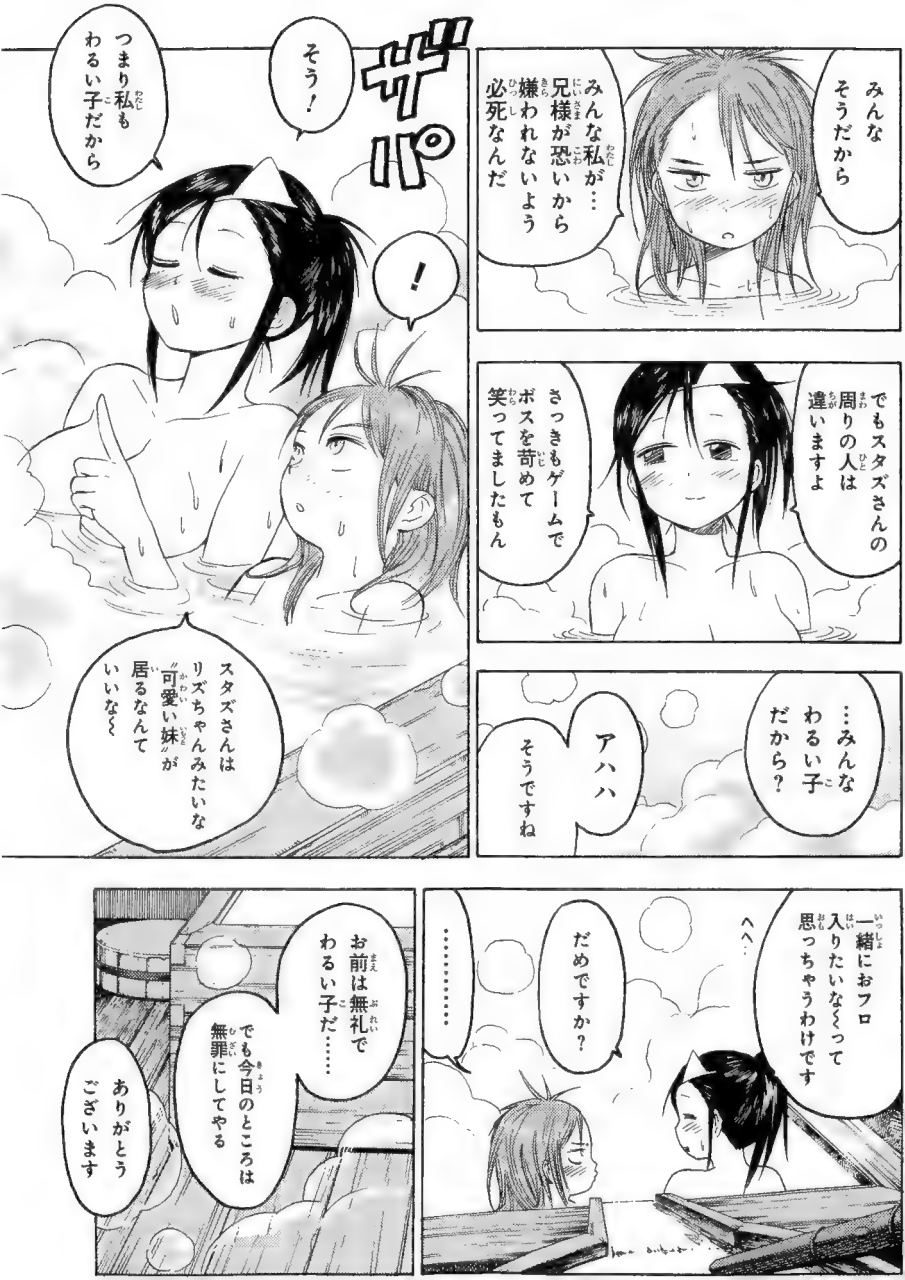
ぐあっ
マジかよコイツ
俺の買い占めた
物件を何だと
思ってやがる！
ほら だから
こーゆー事
するんスよ
コイツ
うるせぇ
お前が
うつしたん
だろが
アッハッハッハ
……

じーっ
混じらないで
いいんですか？
てぶくろを
パクン
いい

お風呂
入って寝る
どこだ
あっそれなら
たしかこっちです
ゆ

ヤボーン
……
すごい和風ですよね
私も魔界初日に入ってビックリしました
！何脱いでるんだ!?
え？だってお風呂入るんですよね？
私と一緒に入る気か!?
そ
そうです
恥ずかしいんですか？
お兄ちゃんと入ったりしませんでした？
な…
馬鹿にするなー!!
私はお風呂くらい一人で入れるんだ!!
いや…
そういう事じゃ…
カコン

ハイ
目閉じてなきゃだめですよー
流しますからね
今度は背中も流しますから
うん…
ザッパー
さっきは悪かった…
お前が居て助かった
まさかシャンプーハットが無いとは…
いいんですよおかげで一緒に入れましたし
……もしかしてお前は私に気に入られたいのか？
私が殿堂で偉いからお世話やいてるのか？
……
どうしてそう思うんです？

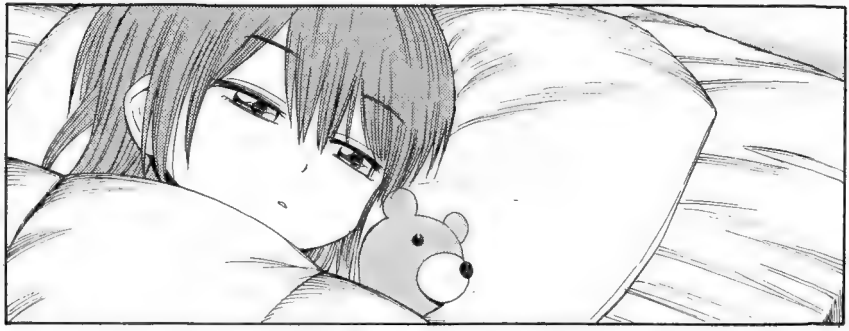

みんな
そうだから
みんな私が…
兄様が恐いから
嫌われないよう
必死なんだ
でもスタズさんの
周りの人は
違いますよ
さっきもゲームで
ボスを苛めて
笑ってましたもん
…みんな
わるい子
だから？
アハハ
そうですね
ザパ
！
そう！
つまり私も
わるい子だから
スタズさんは
リズちゃんみたいな
“可愛い妹”が
居るなんて
いいな～
一緒におフロ
入りたいなくって
思っちゃうわけです
へへ…
だめですか？
……
ざ
お前は無礼で
わるい子だ……
でも今日のところは
無罪にしてやる
ありがとう
ございます

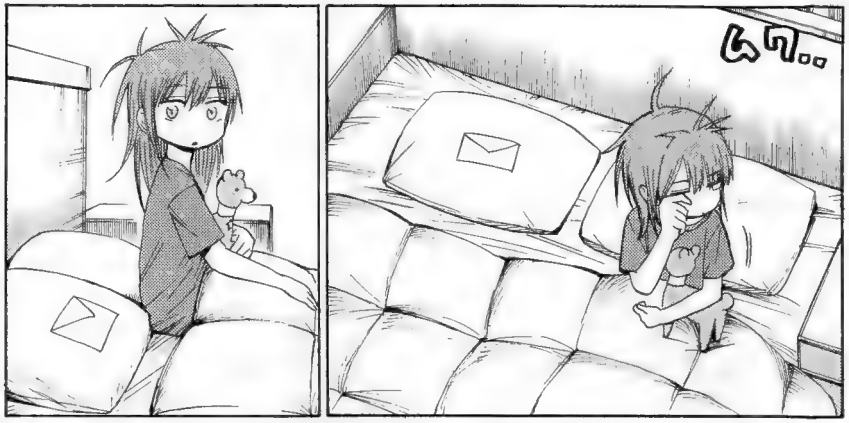
ギャッハッハッハッ
Click Here
いやーボス!!
そのカードは
勘弁して下さい
マジで
聞こえ
ねぇなぁ——
ルパンの声
だったら俺に
届くかもなぁ
そ〜りゃないぜ
ス〜タズちゃ〜ん
ブッハッハッ
イントネーション
まんま不二子
じゃねーかよ
……
ほっとき
ましょうか…
うん
パチン
パッ
多分この部屋
使っていい
です…よね？
許す

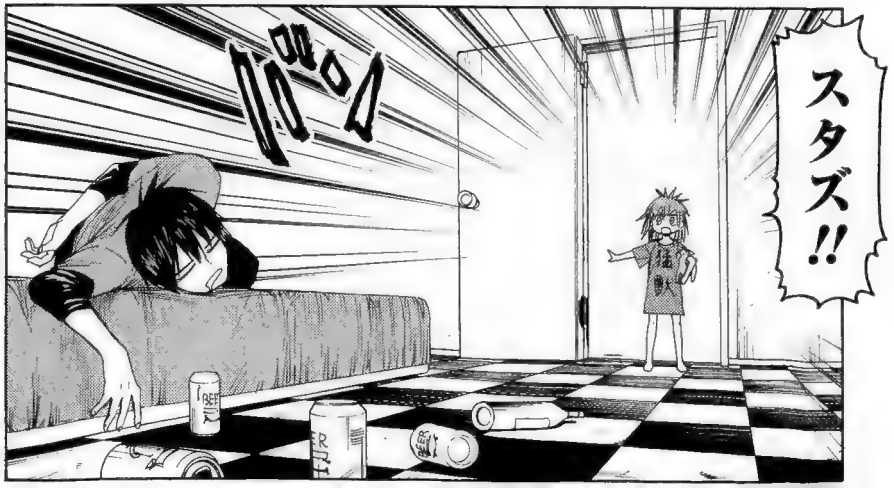
それじゃあ寝る
そうですね
そっちにベッドあるだろ！
いいじゃないですかご無礼ついでに
こういうのちょっと夢だったんです
きもち悪いぞ！
Click Here
パッ
おやすみなさい
……お前胸が太ってるから狭い
む……
楽しかったですね
今日は…
大変な日だった

…うん
ごはん…
おいしかった
…また
作(つく)りますよ
パズー……
かっこよかった
……
そうですね
……
ずっと…
寂(さび)しかった

私でよければ
傍にいますよ
ズロロ
ズロ
ハロっ%
シュルロ。。




ムフ..


スタズ!!
ムニャ

起きろ!!
起きろ!!
ガッ
ガッ
あんだよ
リズ
こ。
見ろ!!
読め!!
あ? ああ
ああ!?
さがさないで
ください
ふゆみ
…で
冬実は…?
居ない!!
消えた!!

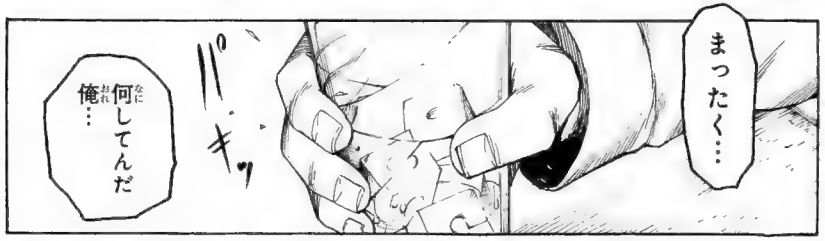
♠つづく♠

あーいつもの
この感じ…
平和
だなぁ～
何も起きない
ってマジ最高

第20話♠幽霊泥棒と番犬

冬実は…
どこにも行ってない…
私とずっと一緒に居た
ベッドを出る気配も…
ドアを開ける音もしなかった
そりゃお前がグースカ寝てたから気づかなかったんだろ
お前と一緒にするな
それに冬実は…
私でよければ傍にいますよ
……
ポン
わーってるよ

これは冬実の意思じゃねぇ…
自分の体が給血されねぇと消えちまうのを知っていて…
そんな頭ワリー置き手紙残して黙って居なくなるわけがねぇ…
じゃ…じゃあまさか誰かに誘拐されたとかっ…!?
ああ…
……もしくは…
もう…
殺されたか…だ


まったく…
パ・キッ
何してんだ俺…

いつもそうだ…
あいつが一回死んじまった時も…
ベッ
カラン
カラン
消えそうになってた時も
俺はあいつの傍に居なかった…
プラン…

自分の目的にばっか夢中で
あいつの事をちっとも見ちゃいなかった…
ボス…
ど…どうしたんすからしくないスよ
そ そうだぞ基本いっつもお前が悪いけど反省しないのがモットーだろ？
そんな思いつめんなって!!
まだそうと決まったわけじゃねーし
まだ消えて居なくなったわけでもねぇんだろ!?
だったらいつもみたいに俺達に一言無茶言えよ
？

お前等
今から魔界中を
手分けして
冬実を
探して来い！
…ってな

そんで
冬実をさらった奴
見つけてシバくのが
お前の役目だろ！
……へっ
ちょっと
違えな

正しくは
こうだ
お前等
全力で冬実を
探して来い
もし見つから
なかったら…

怒り狂った俺が
持てる力
全てを使って
魔界中に
やつあたりすんぞ
だ

…そいつぁ
おっかねえ…
ガヲッ
絶対
見つけ
ないと…

おし じゃあ
行くぞ!!
手がかりは
無えけど
ガッツだ
……

待って!!
あ?

……

何だよ

……にっ…
兄様なら…
冬実の
居場所がわかる
はあ!?
…冬実に
発信機を
つけてた
……
いつ!?
プシュッ…って
魔力を
取った時
……
……
何で
今まで黙って
やがった…
……
だって…

…だって…
スタズには絶対に言うなって…
兄様が…
あの野郎…
わかってたのか…こうなるのを…
！
まさか冬実をさらったのも…
それは兄様じゃない!!
こんなの計画に入ってない!!
おい
ちょっと待て…
計画って何だ？
あ…

ゴゴゴ…
カツン
カツン
カツン
さて…
私の事は覚えているかな？
Mr.フランケン
……ああ…

それは光栄
では 改めて自己紹介させてもらおう…
サンタクロースだ
!
またの名を…
吸血鬼
ブラッド・D・ブラッズ
…とも言うがね

あんたが…
プレゼントを気に入ってくれた様で何よりだ
君の研究成果しかと拝見させて頂いたよ
何が目的だ…

…まあ そう急ぐな 話しながら行こう
ついて来てくれ
ゴーッ
そうだな… まず
君にプレゼントを贈ったのは ある種テストの様なものだった
君が私の期待に添う人物かどうか…
勝手ながら試させてもらったんだ
…そんで結果 牢獄行きって事は
俺は不合格って訳か
いいや違う
合格だ
チン
ガーッ
このような形で君を招き入れたのにも理由があってね…

ガコーン
まず第一に…
ピピピピピッ
ガコーン
これは 上も知らない
私の極秘研究だ
という事だ

なので 私は君と
公の場で直接会って
この話を
出来なかった
第二に
…さて…
ここまで言えば大体
私がこれから
言おうとしている事が
わかるだろう
ここがその
私の研究室だ
牢獄がその
極秘研究を隠す
場だからだ
どこからも
観測される事の無い
閉鎖された空間
自由に出入り
出来るのは
私とリズだけだ…

オ
オ
君には
私の研究に
協力して欲しい
フッ
頼めるかな？

俺を牢獄に入れた理由…第三は

その問いに俺がNOと言った場合、イコール終身刑コースに直行できるから…だろ？

その通り…

なるほどな…
どーりで
オカシーと
思ったぜ…
カラン
兄貴の目的は
アキム討伐じゃなく
その後の
フランケン確保
だったって訳だ
そう…
あの野郎…
蘇生そっちのけで
フランケンと遊んでんじゃねーだろな
あの…
この事は
絶対秘密
だから…
ね？
あぁ言わねぇよ
そんな事より
今は冬実だ
発信機の件は
謎のままだが
今は
それに頼るしかねぇ
ゴゴゴ

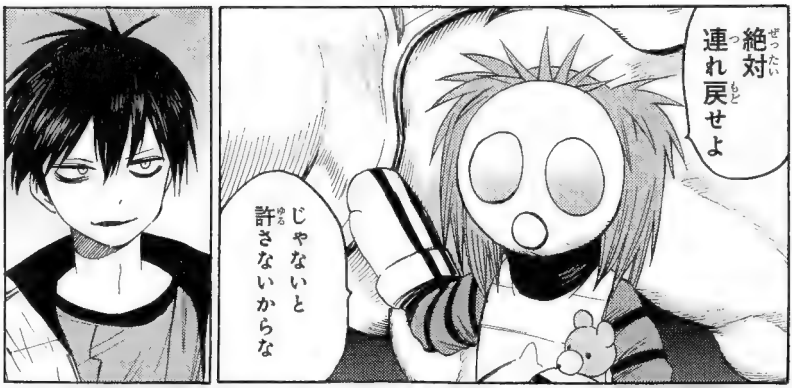
ほれ
コト…
?
スパイゴッコだリズ
殿堂に戻って冬実の現在地をチェックしたら俺に連絡しろ
え…
だ…駄目…だって兄様に帰ってくるなって…
その兄様が絶対言うなって事バラしといて今更何言ってんだよ
大丈夫だ
もし兄貴に何か言われたら
冬実が居なくなって動転した俺に脅されてやった事にしろ
ゲッ
全部…やる

俺が今まで集めた
人間界のグッズ……
アニメ…マンガ…映画…CD
フィギュア…その他もろもろ
全部お前に
あげてもいい
……!!
だから
冬実を…
見つけて
くれ…
頼む…
リズ…
……

……
これ…
もらったから…
この子…
これでいい
……そんなんでいいの？
…うん

ピッ
殿
勘違いするなよ
お前のためだけに行くんじゃない
ああ
冬実はわるい子だ
ビリッ
けどまあまあいい奴だったからな
そうか
ゴオオオオオオ
ボオッ

じゃあ
行く


絶対
連れ戻せよ
じゃないと
許さないからな

ゴロゴロ

お前も もう十分わるい子が様になってるぜリズ
ピルルルル
どんな奴だ!?
ちょっと待って下さい今サティちゃんと豆次郎でその店をサーチアイして
その情報を元に吉田がその人物に変身したとこ写メるんで
……スゲーなお前等
ピッ
おう
情報ゲットですボス
朝にこの辺じゃ見かけない奴が飯屋に来たらしいって

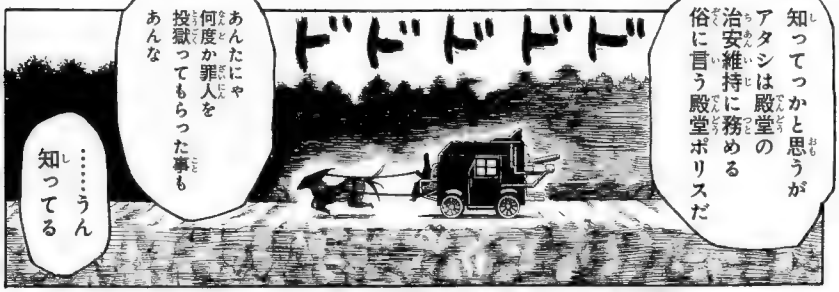
出来たか？
かなり似てる
こいつですボス
ミヤ
見覚えありますか？
誰だよこのUKロック聴いてそーな奴は…
ん？でもどっかで見た事あるような…
いやや っぱ気のせいか…
どっちスか
まあでも怪しい事は確かだ
そいつそれからドッチ行ったかわかるか？
えっと
南だ南！南魔界の方
だそうです
ああ聞こえありがとよ
ピッ
南か…

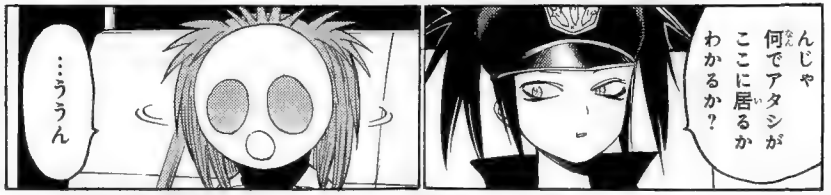
リズを信用してねぇわけじゃねぇが
グッ
グッ
仲間の情報も無視できないしな
何より俺が
じっとしてられねぇんだ
ガン
ゴゴゴゴ

冬実は…
誰にも渡さねぇ

バサ
バサ
ブラッド・T・リズ様ですね
そうだ
少々お待ちを…ん？
データによりますとお兄様が付き添っておられる筈では？
兄は先に帰った
…そのような報告は受けておりませんが…
…失礼ですがそちらにお持ちなのは魔界の物ですか？
そうだ何でもない！ただのお土産だ！
チェックさせて頂いても？
急いでるんだここを通せ!!
通してやりな
！
アタシが許可する

ベロス様…
……
来い
屋敷まで連れてってやる
パァン!
……了解致しました
ではその様に手配を…
あの…
それとベロス様
まだガムがお顔に…
早くしろ
…はい至急
バタン
フキフキ
さて…


知ってっかと思うが
アタシは殿堂の
治安維持に務める
俗に言う殿堂ポリスだ
ドドドドド
あんたにゃ
何度か罪人を
投獄ってもらった事も
あんな
……うん
知ってる


んじゃ
何でアタシが
ここに居るか
わかるか？
…ううん

アタシは
あんたの兄貴に
用があったんだ
プクゥ～
えっらい
待たされたぜ

……
でも
兄様は先に
帰って…
あーそうだ
あの野郎 アタシの事
シカトしやがったんだ
マジキレそうだぜ
……

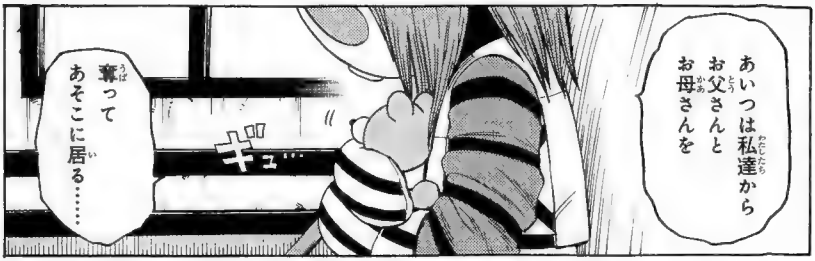
気づいてやがったんだ
アタシが張ってる事
そーとは知らず
あんたと一緒に
ご帰宅すんのを
飼い犬みてーに
律儀に待っち
まったよ…クソ
きゅ…
急用だったんだ
それで一旦…
だとしても

黙って出たり
入ったりは
それだけで罪だぜ
まぁお陰で正式に
私の特権を使って
奴を連行する
口実にはなったけどな…
感謝するぜ
……

兄様をどこに
連れて行くの…?
奴が最も
会いたくない
であろう人の所さ
…まさか!?
そう……

殿堂魔界王

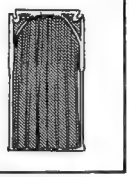
ウルフダディの所へ…
……
……何で…
何であんな奴の所なんかに…!!
コラ口を慎め
兄様に何の用だ!!
残念ながらそれはアタシの口からは言えねーな
極秘事項だ
あんな奴…
王じゃない…



♠おわり♠

魔界に生きる

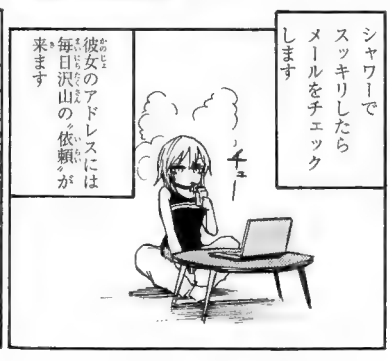
ベル編



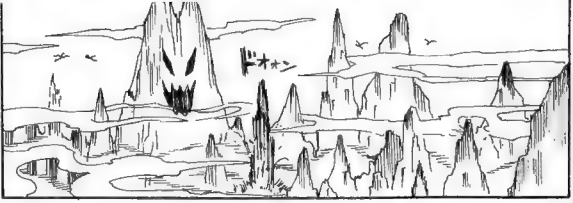
今回は最上級の空間魔術師であり
トレジャーハンターのハイドラベルさんにスポットを当てたいと思います
ゴロン
んー

寝癖バッチリな上寝相もあまりよろしくない様です
ゴトッ
んぎゃ！
？

そんな一見ズボラそうな彼女ですが
お風呂に入るのは大好きです
♪
♪
シャワー
ちなみにこのコマが若干大きいのと丁度いい位置にナレーションがかぶっているのはお察し下さい


シャワーでスッキリしたらメールをチェックします
彼女のアドレスには毎日沢山の〝依頼〟が来ます
チュー

かなりVIPな人からもきますが……
またビル・ゲイツからきてる…
しっつこいなーこのオッサン
MILK
お金では動きません



お

これは…

彼女は日々
冒険を
欲しているの
です

うひょ――

魔界にこんな
マウンテンが
あるなんてねー

ギャー
ギャー

来て
良かった♡

世界中
いつでもどこに
でも難無く
行けるなんて
素敵ですよね

でもそれは
そこまで辿り着く
過程や達成感も同時に
無くなってしまうと
いう事を

トッ

ほっ

彼女は
知っています

なのでただ行けば
手に入る物は
仕事にしないのです

あっちゃちゃ

ゴオ

ギャアギャア

ギャー

ピー
ピー
ピー

苦労して
やっとの思いで
手に入れる

ハア
ハア
ハア

来るんじゃ
なかった……

こんな花じゃ割に合わないっつの…
ブシュ
おう!?
あれ？何か…
良いにおい…
カレーの匂い…
ブシュ
あ今度はステーキ……
ブシュ
あ……
そこでしか出来ない体験
それが何よりも彼女の
宝物なのでしょう
今度はラングスティーヌのラタトゥイユファルシー！
ドサッ
おおー
これは確かに香りを嗅ぐだけで至高の料理が味わえる花だ
ありがとう
ガルクギュン
いーえー
嗅いでてもお腹は満たされないから…
ダイエットにはいいかもね
そして彼女はよく食べます
ガッ
ガッ
おかわり！
……
あんたの胃どこに繋がってるアルか
END

ブラッドラッド
特権を与えられた殿堂ポリス
ディメンション街道の女
悪魔的な実験に手を染める実兄

発行:角川書店　発売:角川グループパブリッシング
Kadokawa Comics A

Kadokawa Comics A

角川コミックス・エース

ブラッドラッド④

著者
小玉有起（こだまゆうき）

2011年6月4日初版発行
2011年7月25日第2刷発行

発行者
新名　新

発行　株式会社**角川書店**
〒102-8078 東京都千代田区富士見2-13-3　電話／(03)3238-8541(編集)
発売　株式会社**角川グループパブリッシング**
〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3　電話／(03)3238-8521(営業)
http://www.kadokawa.co.jp

装幀・デザイン
佐々木基

印刷
大日本印刷株式会社

製本
本間製本株式会社

初出／『ヤングエース』'11年1月号～5月号

本書の無断複写・複製・転載を禁じます。落丁・乱丁本は、ご面倒でも角川グループ受注センター読者係宛にお送りください。送料は小社負担でお取り替えいたします。
この物語はフィクションであり、実在の人物・団体名とは関係がございません。

2011 KADOKAWA SHOTEN, Printed in Japan

©Yuuki KODAMA 2011
ISBN978-4-04-715714-9 C0979

ザパーン
これから私はどうすればいいのー!!